



原道小学校

学校だより7月号

☎ 0480-72-3117

令和3年7月1日

学校教育目標

- かしこい子
- やさしい子
- たくましい子



原道小マスコット「はらっキー」

在籍児童数134名

夏休みの終わりに

Aさん：「今年は、がんばって7月中旬に宿題を終わらせることができたぞ。夏休みの後半はいっぱい遊べるぞ。」

今年の夏休み最終日はどうなるでしょうね。叱咤激励しながら宿題をさせることになっちゃうのかしら。親としても、子供が自覚して早く宿題を終わらせてくれると、余計な心配をせずに済みますね。精神的にもだいぶ助かります。Aさんのように早めに取り組むことができる子供に育ってほしいですね。

しかし、実は、Aさんの取組方には重大な欠陥があります。それは、「終わらせること」が目的になっちゃっているところです。つまり、宿題を「消化」するだけのものとして捉えているところです。

かの有名な作家、「サミュエル・マイケルズ」は著書の「自助論」で次のような話を紹介しています。

【勉強を始めるとき、私は決心したのです。「学んだ知識は完全に自分の血肉にしよう。そして、一つの事柄を徹底的にマスターしないうちは、絶対に次に進んではならない」と。ライバルの多くは、私が一週間かけて読む本を、一日足らずで読み切ってしまった。けれど、一年もたつと、どうでしょう、私の知識は、それを覚えた日と同じように鮮明に残っていましたが、彼らは学んだことをすっかり忘れていたのです。】

さて、夏休みになぞらえると、この言葉は何を物語っているのでしょうか。「宿題の目的を考えて取り組みましょう」ということだと考えます。例えばワークは、「理解が不十分なところを洗い出してしっかりと身につけましょう」ということですね。自由研究は「当たり前だと思っていたことに疑問をもち、自分の手で調べたり実験したりして解決する」という、将来にわたって必要な大きな力を身につけてほしいということです。この二つ（基本的事項の理解+学びに向かう力）は未来へのパスポートとなります。

こんな考え方をお子さんに授けることができれば、きっと、本当の意味で有意義な夏休みになることでしょう。

先月号の答え

(1) Cさん (2) Aさん=85点、Bさん=100点、Cさん=90点

どうでしたか、答えがあっているかどうか、ということより、答えにたどり着くための道すじが大切です。



7月の行事予定

| 日 | 曜 | 行 事 |
|----|---|-----------------------|
| 1 | 木 | スクールカウンセラー来校（午前） |
| 2 | 金 | 校内授業研究会5年（算数） |
| 3 | 土 | |
| 4 | 日 | |
| 5 | 月 | |
| 6 | 火 | たなばた集会 |
| 7 | 水 | |
| 8 | 木 | |
| 9 | 金 | 6時間授業 講話集会・表彰集会 安全点検日 |
| 10 | 土 | |
| 11 | 日 | |
| 12 | 月 | 5時間授業 まなびアップ週間(15日まで) |
| 13 | 火 | 5時間授業 |
| 14 | 水 | 5時間授業 |
| 15 | 木 | 5時間授業 |
| 16 | 金 | 5時間授業 まなびアップテスト |
| 17 | 土 | |
| 18 | 日 | |
| 19 | 月 | 5時間授業 給食終了 |
| 20 | 火 | 終業式 一斉下校 |
| 21 | 水 | 夏季休業日(8月29日まで) |
| 22 | 木 | 海の日 |
| 23 | 金 | スポーツの日 |
| 24 | 土 | |
| 25 | 日 | |
| 26 | 月 | 表札訪問 |
| 27 | 火 | 表札訪問 |
| 28 | 水 | 表札訪問 |
| 29 | 木 | 表札訪問 |
| 30 | 金 | |
| 31 | 土 | |

☆ 7月の生活目標 ☆

自分の役割場所を
責任をもってきれいにしよう

さつまいもの苗植え

学年毎に、さつまいも「ベニアズマ」の苗植えをしました。「ベニアズマ」は全国的に広く普及している品種で、関東地方で多く栽培されています。果皮は濃い赤紫色で、重さは230～500gほど。大きなものは700g以上にもなります。先生方に植え方を教えていただいて、楽しそうに苗植えをしていました。収穫の日が楽しみです。



租税教室

6月3日（木）、6年生を対象に租税教室が行われました。税務署の方から税金の使い道について話を聞いたり、ビデオを見たりしながら税金の大切さについて学びました。最後には、レプリカの1億円にも触れました。ずっしりとした重さを感じ取れるお金でした。税金は生活を支えるものです。そのありがたさを感じながら、生活して行って欲しいと期待しています。



交通事故ゼロに向けて！

児童の安全指導について保護者・地域の皆様にご配慮いただき、ありがとうございます。強雨のときは、メール配信で急なお迎えのお願いをいたしました。ご協力いただきありがとうございました。令和3年度も、交通事故ゼロに向けて取り組んでいきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。さて、雨天時に気をつけていきたいことについてお知らせします。雨の日は傘を差して視野が狭くなったり、足下が歩きにくくなったりすることが考えられます。ご家庭におきましては、①雨の日でも周囲の安全確認を確実にすること②水たまり等を避けるために、急に車道にでないこと等の言葉がけをお願いいたします。また、③全国的に水の事故も増えてくる時期です。子供だけで川や用水に近づかないよう、ご家庭での注意喚起をお願いいたします。